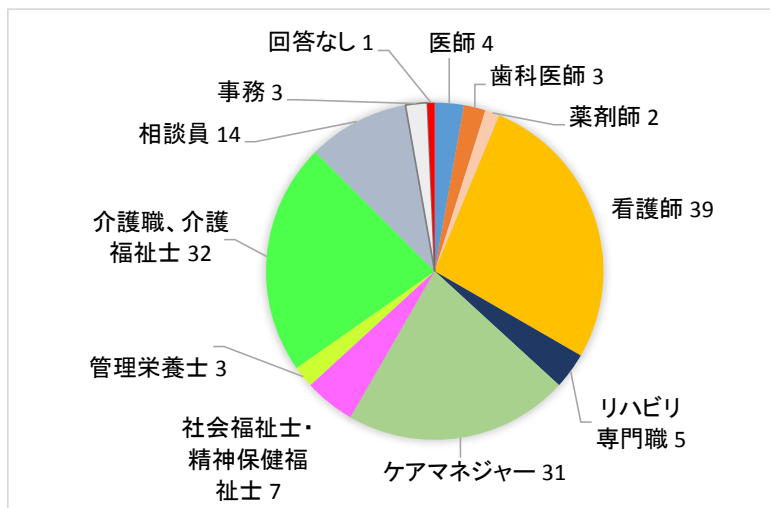


平成30年度 第1回在宅医療介護従事者研修会 アンケート

出席者 144名

医師	4
歯科医師	3
薬剤師	2
看護師	39
リハビリ専門職	5
ケアマネジャー	31
社会福祉士・精神保健福祉士	7
管理栄養士	3
介護職、介護福祉士	32
相談員	14
事務	3
回答なし	1
計	144

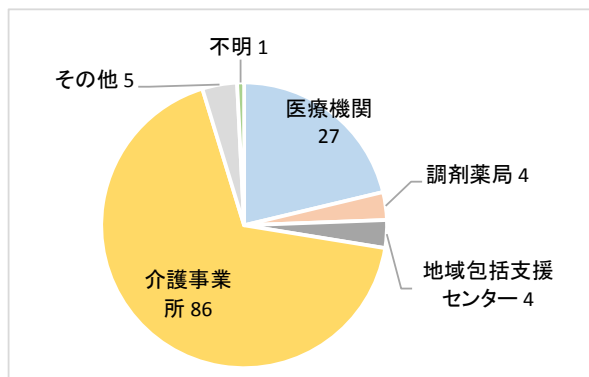


アンケート回収 127名

アンケート回収率 88.2%

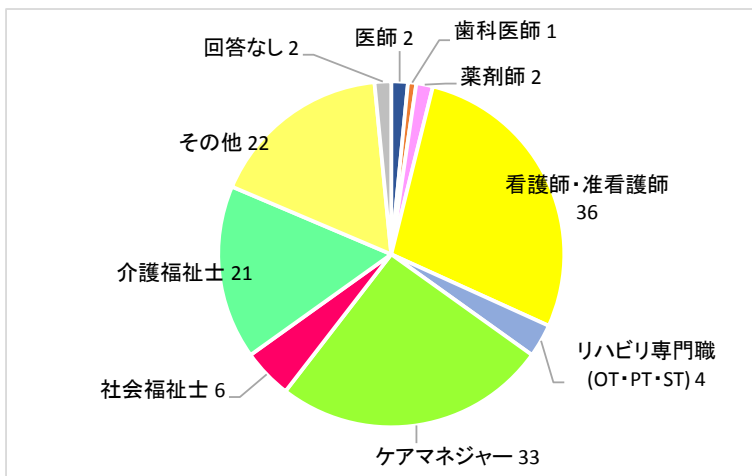
1、所属

医療機関	27
調剤薬局	4
地域包括支援センター	4
介護事業所	86
その他	5
不明	1
計	127



2、職種 (重複2人あり)

医師	2
歯科医師	1
薬剤師	2
看護師・准看護師	36
リハビリ専門職(OT・PT・ST)	4
ケアマネジャー	33
社会福祉士	6
介護福祉士	21
その他	22
回答なし	2
計	129



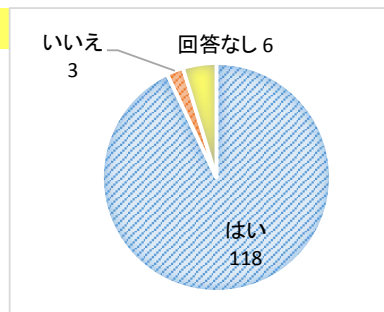
3、①本日の研修会はいかがでしたか

参考になった	120
参考にならなかった	2
回答なし	5
計	127



3、②本日の内容が今後に活かせると思われましたか

はい	118
いいえ	3
回答なし	6
計	127



3、③本日の講演会の感想をご記入ください

- スライドの文字が小さく見えづらい所が残念でした。
- 今後は在宅での看取りも多くなると思いますので、良い勉強になりました。
- 施設での看取りの場合も在宅と同じく多職種連携が重要だと思いました。
- 以前在宅での看取りで田中先生と連携させて頂きました。ご家族が本当に在宅で看れたことを満足されておられ、今後在宅医療、介護サービスの連携が広まれば良いと思います。
- メモを取っていると聞き逃してしまう部分があった。
- 連携する為の問題点や必要性の理解が出来た。
- 様々な職種の方々とチームを組んで利用者様に対応していきたい。
- 資料配布があれば助かります。理由はパワーポイントの文字が見えない、本日参加できなかったスタッフへ回覧することで先生のお考えを伝える。
- 退院カンファの重要性の要になる。
- 「あ・うん」の呼吸(何回も医・看・介・家族・本人のケアカンファが必要と思いました)。「自然な死」を自分・家族・社会に啓発を願います。
- 病院、在宅医療のそれぞれの特徴、利点欠点や今後の課題や必要性を分かりやすく説明して頂き分かりやすかったです。
- 多職種間と家族とのコミュニケーションの大切さを再確認しました。
- 終末期の話が主だったので、そこへ行く過程までの時間で地域資源を使い、その方が生きてきた課程を大切にすることを改めて見直す機会となりました。
- 自院での具体的取り組み、具体例など教えてほしい。
- 先生のように在宅に理解あるDrが増えてくれれば良いと思います。中にはまだケアマネをしっかりとつけるような怖い先生もいらっしゃいます。医療の知識が乏しい私達の勉強不足もありますが、穏やかに接していただければ相談もできません。
- 日頃より情報提供などが十分でないまま指示が先に動くのでカンファランスが大切であることを再認識しました。「顔の見える関係」はとても大切であることに共感致しました。
- 勉強になった。良い講義だったので。資料がほしいと思いました。在宅でのチームケアの大切さが分かりました。看護師、介護士の精神衛生にも配慮する必要があることを学んだ。
- 入院療養を希望されたが退院となり、不安を抱えたまま在宅療養にある利用者が増えてきた。在宅療養は多職種連携することで住み慣れた自宅で自分らしく最期を迎えることができる事が分かりやすく説明して頂き勉強になりました。ありがとうございました。
- 在宅医療を開始する上での心構え、カンファなど多職種の関わり、導入が早いとスムーズにいく根拠が分かりました。
- 個人対個人のケアなのでチームが連携していないと成立できないんだなあと思いました。
- 在宅で患者を支える為には多職種が連携し、患者・家族の寄り添うことが大切だと思いました。時間がない、合わせられないなど課題はありますが、カンファレンスの必要性を改めて感じました。
- 最後患者さんは家に帰りたいと思う在宅医療ができれば家族の中で自分らしく生きていけるのだと。
- 必要なことはメモを取れば良いので良いと思います。逆に集中できます。在宅医療を行う上で、先生が多職種を大切にされていると言うことがとても伝わりました。
- 分かりやすく話して頂き、良く理解できました。迷いながら支援することが多いので、今日の話参考らせて頂きたいと思います。
- 他職種連携は非常に重要とっており、Drからこの様なご意見、考え方を発信して頂けることは大変有難い。今後の拡充を希望します。
- 各スタッフ間でのカンファランスなど機器業者としてもためになる情報は多く、積極的に参加できればと思います。看取りの場合は機器設定なども複雑になる為、訪問サービスを行う方々への確実な周知の場になると思います。
- 現状の在宅ケアの組織図が分かりやすく解説されていました。「入院＝ケア、在宅＝ケア」の感覚に非常に共感しました。
- 田中先生のようにカンファレンスまで時間を調整して参加して下さる先生はあまりなく、在宅に関わる先生方にもその必要性を伝えて頂きたいと思いました。
- 在宅にもケアマネに来てほしいと言われ安心しました。なかなか末期になってくると行けずにいました。

- 緩和ケアに関しては全く知識がなく初めて知ることばかりでしたが、多職種連携の重要性を強く感じました。
- 根本的なところを学ぶことができました。管理栄養士として何が出来るのかもっと考えなければならないと思います。
- 在宅緩和ケアを行う場合に病院を退院した状況でかかると本人の状況も分からないまま関わることもあります。主治医を中心とした多職種連携の大切さを感じます。地域全体でとりくめるようになるとういと思いました。
- 実際の現場での連携の利点問題点が具体的にわかりました。特にバックベッドをいかに用意するかという点は考えさせられました。
- 当院も在宅医療を行っていますが、連携が今ひとつしっかり出来ていないように思いました。ご講演の内容をきちんと活かしていきたいと思います。
- 看護師が訪問看護としてとても重要なことをしているかを理解されていない医師もいらっしゃることも知ってもらいたい。先生のような在宅医が増えることを願い、これからもいい最期だったと言ってもらえるような看護を続けていきたいと思います。
- 連携に何が必要なのか何がネックなのかポイントがよくわかりました。
- 連携医があるということ、在宅医療をするにあたり、患者や家族が安心できると思う。在宅で看取るあたりケアマネの計画書は不可欠と思う。自分がどれ位のこと出来るかを考える
- 連携のシステムもよくわかりましたが歯科との連携は？歯科との連携には垣根があるのでは？

4、省略

5、研修会に関する日時・場所、その他のご意見やご要望がございましたら、ご記入ください。

- 今のままの時間で良いです。
- 時間の調整が可能な限り参加させていただきます。
- 駐車場が少なく困りました。近くにパーキングもなく、今後案内がほしい。
- 金曜か土曜、時間帯は良い、医師会も分かりやすく良かった
- もう少し早く始めてほしいです。仕事の後なので良かったらお願いします。18時30分頃
- 日時、場所は参加しやすくいいです。
- 平日の本日の時間は良かった